

提案仕様書 資料集

	資 料 名	ページ
資料1	ハードウェア構成 現行システムの使用機器	1
資料2	ソフトウェア構成 現行システムの使用製品	4
資料3	ネットワーク構成 現行システムのネットワーク図	5
資料4	システム概要図(基本物資)	6
資料5	システム概要図(一般物資)	7
資料6	業務一覧(基本物資)	8
資料7	業務一覧(一般物資)	12
資料8	システム改善事項 検討資料(基本物資)	16
資料9	システム改善事項 検討資料(一般物資)	22
資料10	マスター一覧	32
資料11	委託加工業者パンデータの内容	35
資料12	需要量申請Excelデータの内容	36
資料13	WEB発注システムデータの内容	39
資料14	Qネットシステムデータの内容	42
資料15	現行システム帳票例(基本物資)	43
資料16	現行システム帳票例(一般物資)	75
資料17	現行システム画面例(基本物資)	118
資料18	現行システム画面例(一般物資)	187

ハードウェア 構成一覧

1 サーバ				
用 途		基幹サーバ	サイボウズ用サーバ	Qnet 用サーバ
メーカー・型式		NEC Express5800/V618L-L	NEC Express5800/T110e-M	FUJITSU PRIMERGY TX2540 M1
オペレーションシステム		Windows Server 2008 Standard	Windows Server 2012 R2 Standard	Windows Server 2012 R2 Standard
ス ペ ッ ク 概 要	C P U	Intel Xeon E5-2420v2 2.20GHz	Intel Xeon E5-2403v2 1.80GHz	Intel Xeon E5-2420v2 2.20GHz
	メ モ リ	4 GB	8GB	16GB
	H D D		146.5GB×3	600GB×2
	O D D	DVD-ROM ドライブ	DVD-ROM ドライブ	DVD-ROM ドライブ

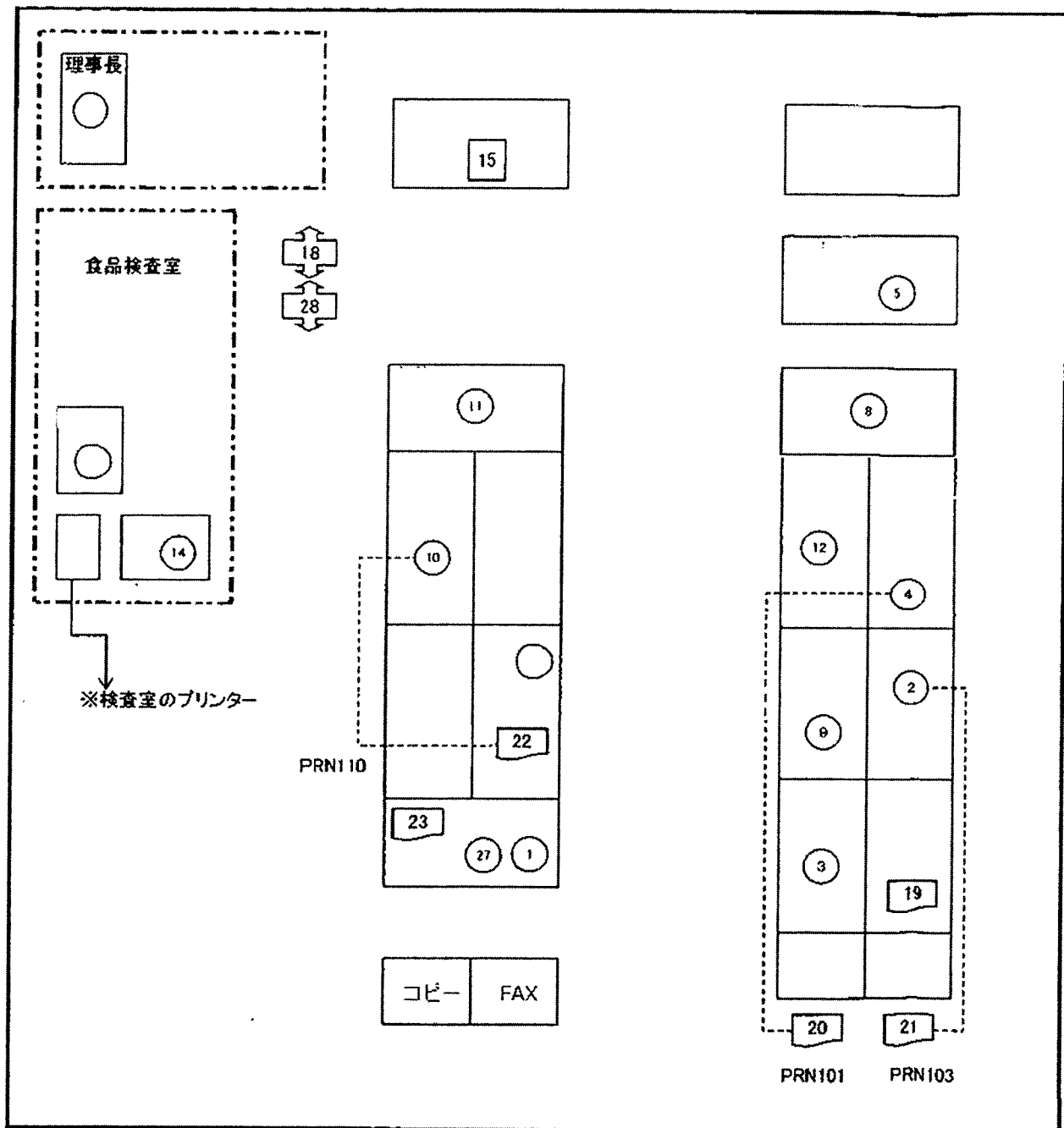
2 クライアントPC				
設 置 台 数		8 台（本部 6、北部 2）	7 台（本部 7）	1 台（本部 1）
メーカー・型式		NEC Mate J MB-J MJ35L/B-J		NEC Mate J ML-E
オペレーションシステム		Microsoft Windows7 Professional SP1 32bit		
ス ペ ッ ク 概 要	C P U	Intel Core i3-4150 3.50GHz		Intel Celeron
	メ モ リ	2 GB		
	H D D	500GB		
	O D D	DVD-ROM ドライブ	DVD マルチドライブ	

3 プリンタ		
設 置 台 数	3 台（内 本部 2 台、北部 1 台）	4 台（内 本部 3 台、北部 1 台）
メーカー・型式	NEC Multiwriter 8250N	NEC MultiImpact 201MA
印 刷 方 法	モノクロレーザー	ドットインパクト
イ ン ク	リサイクルトナーを使用	リサイクルリボンを使用
用 紙 サ イ ズ	A4・B4・A3	—

※プリンタは一般物資システム上で稼働しているもののみ。

パソコン・プリンタ 配置概略図

<本部>



凡例



サーバまたはPC



PC
(流用分)

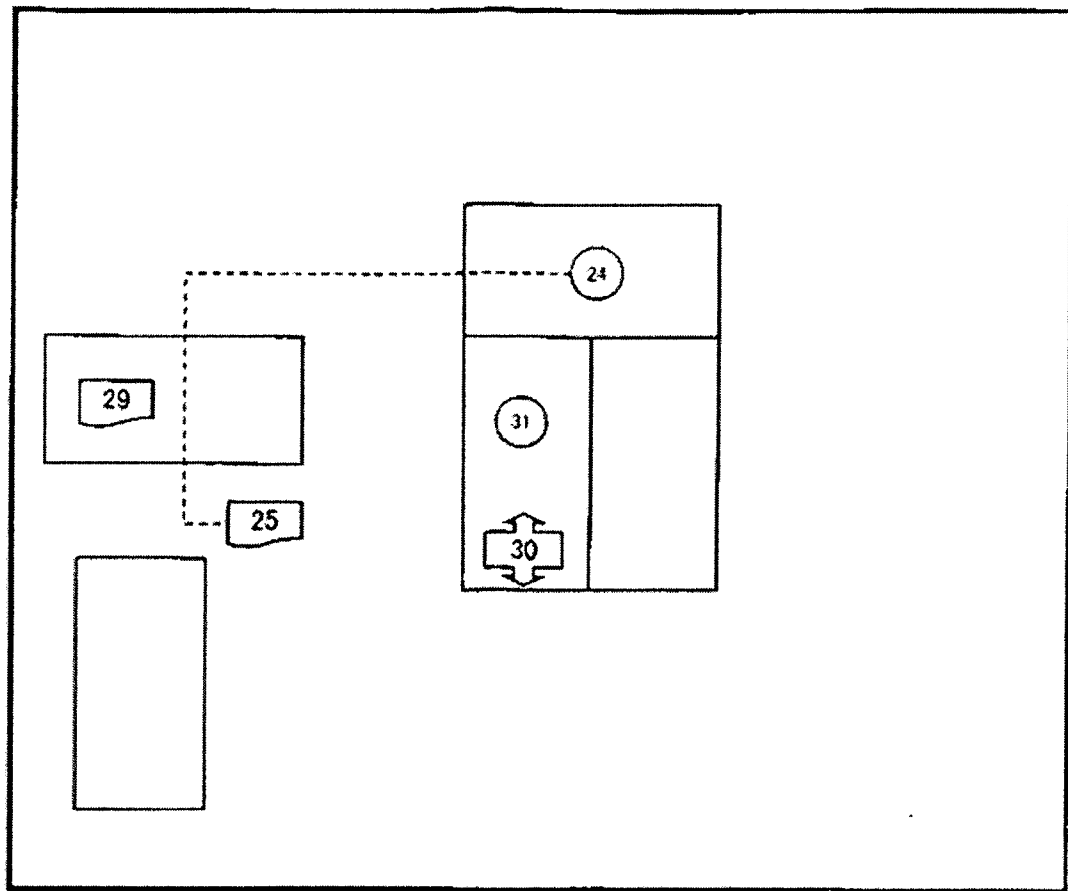


プリンタ



ルータ

< 北部支所 >



凡例



サーバまたはPC



プリンタ

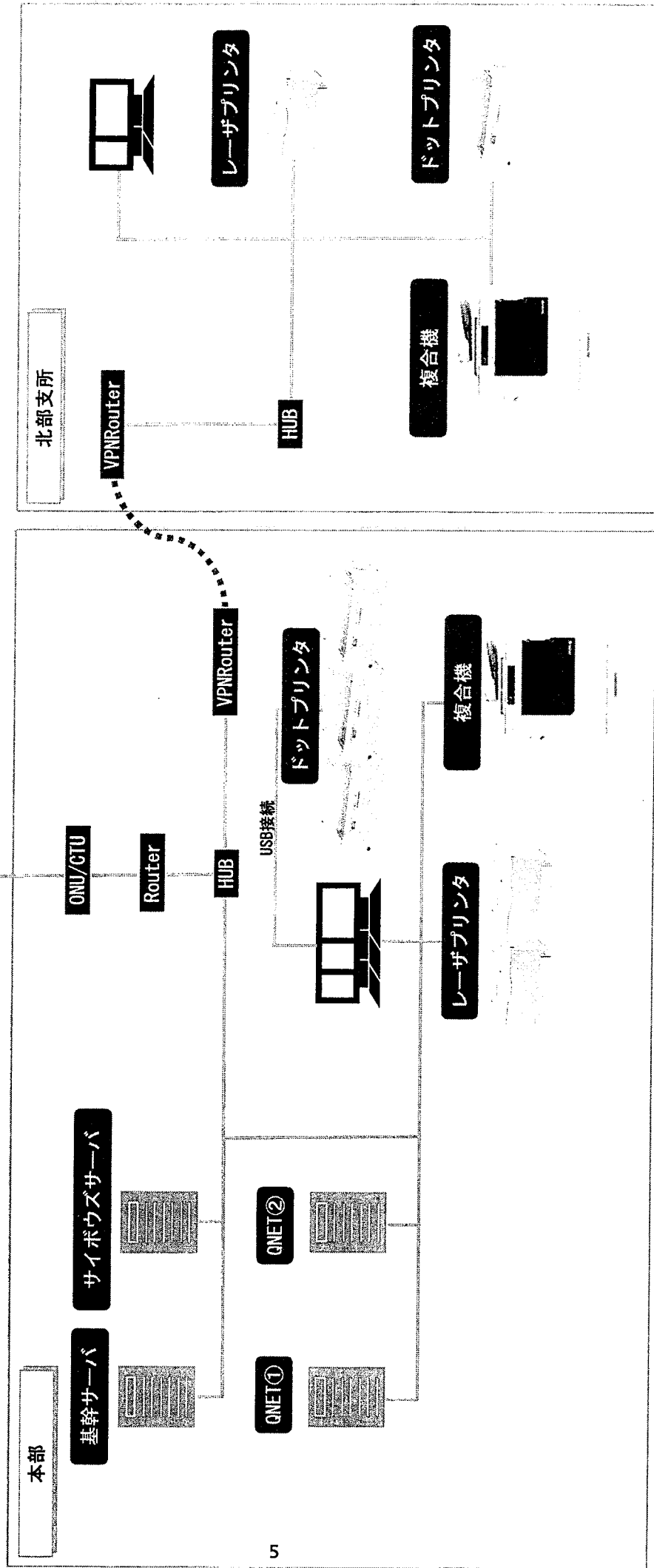


ルータ

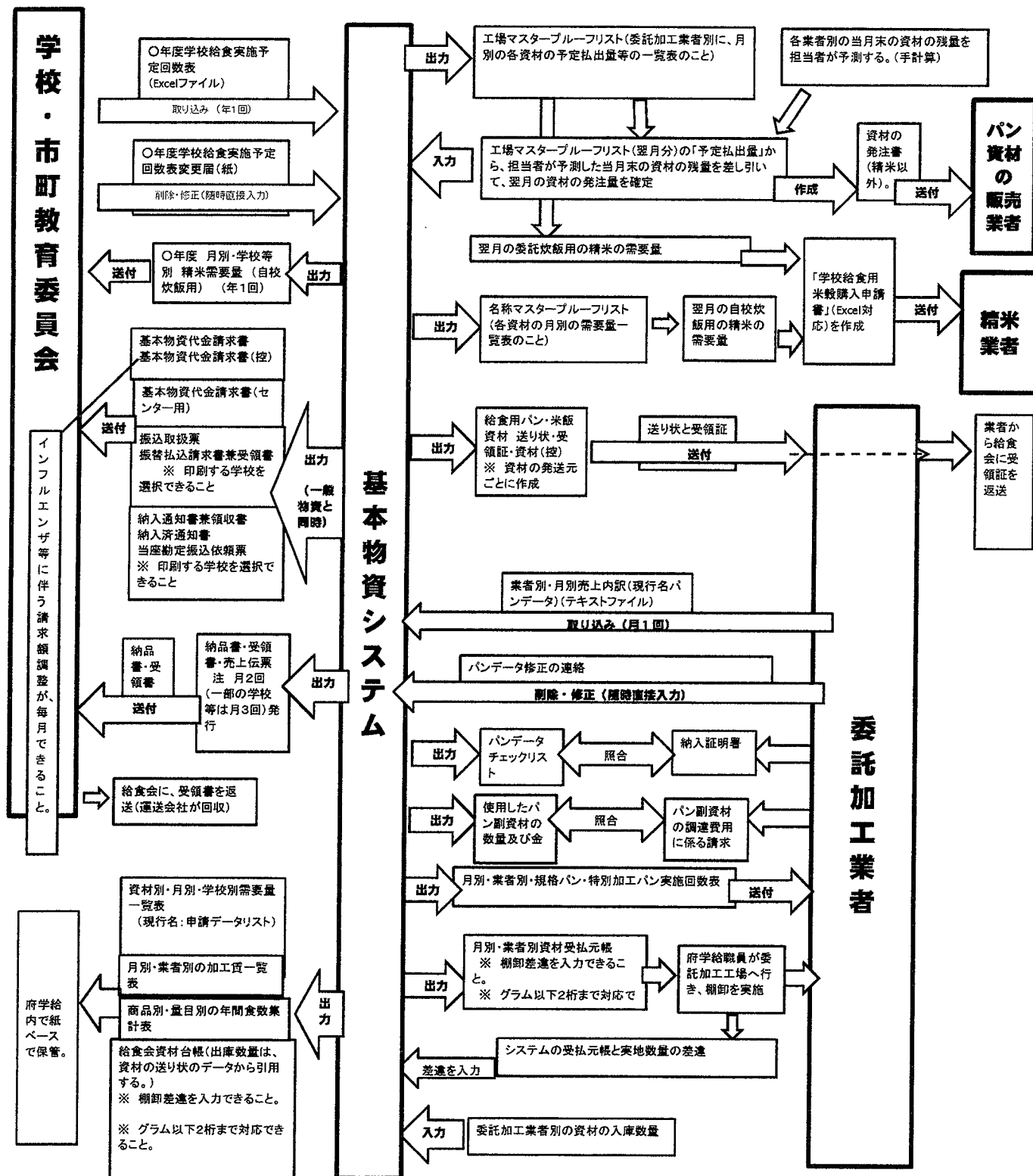
現行システムソフトウェア構成

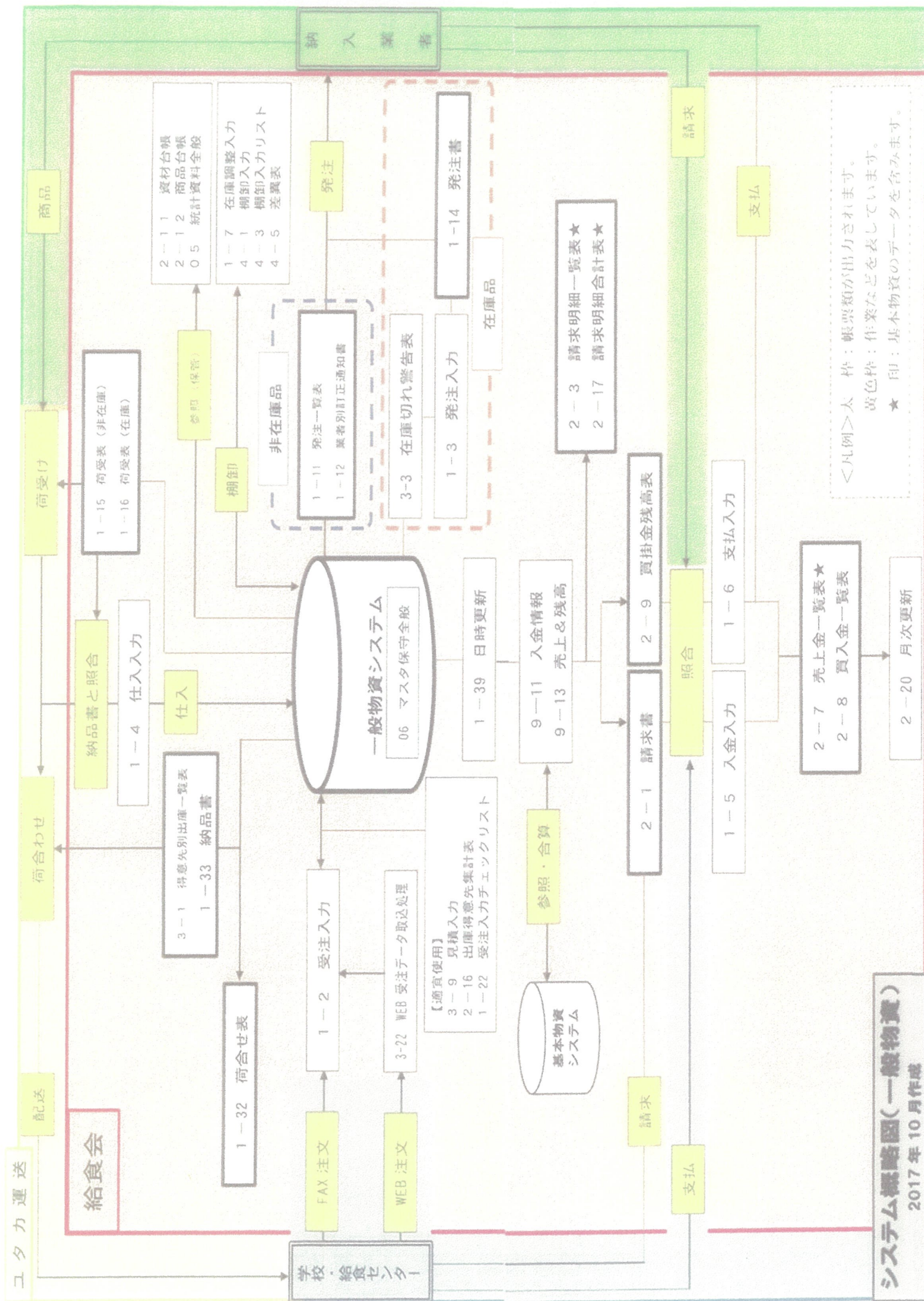
No.	ソフトウェア	概要
1	A-VX	基幹システムで利用
2	A-VX01 COBOL85	基幹システムで利用
3	A-VX SMART2EX	基幹システムで利用 簡易プログラミングツール
4	A-VX01 RDB/EUF2	基幹システムで利用 データベース
5	A-VX PC/ファイル転送ユーティリティ	基幹システムで利用 テキスト形式へのファイル出力ユーティリティ
6	SkyLink	データベースに直接接続して、マスタ参照等を行いExcelへのファイル出力するアプリケーション
7	Microsoft Access	給食予定システムにて利用
8	Microsoft Excel Word、一太郎	給食予定システムにて利用 (Excel)
9	FTP	WEB発注システムとのデータ連携にて利用

ハードウェア・ネットワーク構成



システム概要図（基本物資）





基本物資の業務一覧

年次処理

区分	業務内容	出力帳票類
年間需要量調べ	・毎年11月～12月頃に、各市町村、学校等（以下「学校等」という。）から、次年度の学校給食実施予定回数表が、Excel データで送付されてくる。 ・送付されてきた Excel データを取り込み、○年度学校給食実施予定回数表を出力して、内容をチェックする。 ※ 現行は、Excel データを Access に取り込み、さらにシステムに取り込んでいるが、Access を介さず、Excel データを、システムが直接取り込めるように改良する。 ・チェックができれば、学校等ごとに、○年度 月別・学校等別精米需要量申請需要量を出力し、市町村、学校等へ送付する。 ・申請データリストを出力する。 ※ 現行は、米粉、ピュアナチュラル、京都市の精麦・胚芽米・玄米、宮津市産コシヒカリ、京丹後市産コシヒカリについては、システムで対応することができないので、別途、Excel により事務処理しているが、新システムでは、他の資材と同じようにシステムで管理できるように改良する。	○年度学校給食実施予定回数表 申請データリスト（資材別・月別・学校別需要量一覧表のこと）

月次処理

	業務内容	出力帳票類
資材の発注等	・学校等から随時提出される需要量変更届に基づき、システム内の申請データリストを修正する。 (申請データリストは印刷して綴っておき、需要量変更届が提出されたときは、システムと紙綴りの両方を修正する。) ・工場マスターブルーフリスト(翌月分)を出力する。 ・各業者別の当月末の資材の残量を担当者が予測する。(手計算) ・工場マスターブルーフリスト(翌月分)の「予定払出量」から、担当者が予測した当月末の資材の残量を差し引いて、翌月の資材の発注量を確定する。 ・資材の発注書を作成(システム対応なし。)し、資材の販売業者へ送付する(精米以外)。 ・資材の発注量をシステムに入力し、業者毎の「給食用パン・米飯資材送り状、同受領証、同資材(控)」を出力する。送り状と受領証を各委託加工業者へ送付する。 (精米を含む。) ※ 現行システムでは資材の発注量を Excel 表にして、システムに取り込ませているが、直接入力に変更する。 ※ 米粉、ピュアナチュラル、京都市の精麦・胚芽米・玄米については、担当者が、別途 Excel で計算したり、業者に使用量を聞いたりして対応しているが、システムで対応できるよう改良する。	工場マスターブルーフリスト(業者別・資材別の、月別の予定払出量等の一覧表のこと) 給食用パン・米飯資材送り状、同受領証、同資材(控)
精米の発注	・名称マスターブルーフリストを出力する。 ・名称マスターブルーフリストに基づく翌月の自校炊飯用の精米の需要量と、工場マスターブルーフリストに基づく翌月の委託炊飯用の精米の需要量を合算して、とう精会社あての「学校給食用米穀購入申請書」(Excel 対応)を作成し、送付する。	名称マスターブルーフリスト(資材別・月別需要量一覧表のこと。業者毎には出てこない。)

伝票 (自校炊飯)	・月2回(京田辺市の全部及び宇治市の3校については月3回)、システムから、納品書、受領書、売上伝票を印刷し、学校、給食センター等あて送付する。	納品書、受領書、売上伝票
資材台帳	・翌月の末までに、システムの資材台帳に、当月分の入庫数量を入力する。 (出庫数量は、資材送り状のデータから、自動的に入力される。)	
パンデータ取込	・毎月、パン米飯加工業者からメールで届くデータ(業者別、学校別、商品別の、学校等への納品数)を、システムが読み込む。(1社のみ手入力) ・パンデータの読み込み後に修正があった場合に、データの削除又は修正を行う。 ・パンデータチェックリストを出力し、委託加工業者からの納入証明署と照合する。 ・全社分が読み込めたら、学校等あての請求書を作成(総務) ・学校給食センターが、担当する学校分をまとめて支払う場合には、請求書(センター用)を出力する。 ・パン・米飯を製造したがインフルエンザ等による給食中止の場合であって、教育委員会が費用負担する場合は、学校等あて請求金額を変更できること。(毎月対応できること。) ・新たな機能として、パンデータに基づき、委託加工業者が使用したパン副資材の数量及び金額を算出する機能を追加すること。	パンデータチェックリスト ・基本物資代金請求書、同請求書(控) ・基本物資代金請求書(センター用)、同請求書(控) ・振込取扱票、振替払込請求書兼受領書 ※ 印刷する学校を選択できること ・納入通知書兼領収書 納入済通知書、当座勘定振込依頼票 ※ 印刷する学校を選択できること。 ※ 一般物資のシステムで請求書印刷の指示をしたら、基本物資の請求書も同時に印刷されること。

学期処理

区分	業務内容	出力帳票類
棚卸	・システムから、資材受払元帳を出力し、各委託加工業者に職員が行って、パン・米飯の資材の棚卸を実施する。(給食会が所有する資材を、委託加工業者が保管しているので、給食会が棚卸を行う。) ※ 脱脂粉乳について、グラム数小数点以下2位の管理が必要であるが、現行システムは対応していないので、担当者が別途 Excel で管理しているが、新システムで管理できるよう改良する。(脱脂粉乳以外の資材についても、同様とすること。) ※ 現行システムでは、棚卸の結果、帳簿(システム)と実地に差違があっても、帳簿(システム)を変更できないので、実地の資材の数量を、委託加工業者に増減させることで対応しているが、新システムでは、棚卸の差違があった場合、システム上の資材の数量を修正できるように改良する。	資材台帳(給食会全体の資材管理) 資材受払元帳(業者別の資材管理)
パン実施回数	システムから、月別・業者別の規格パン・特別加工パン実施回数表を出力して、各委託加工業者へ送付する。 ※ 現行システムは、規格パン、国産小麦パン、全粒粉パンは対応できないので、改良する。	月別・業者別の規格パン・特別加工パン実施回数表
価格改定	価格の改定(通常は、パン：4月、精米：12月、米飯：12月と4月)に対応して、マスターの価格を変更する。 ・商品マスター(精米等) ・品種マスター(パン・米飯)	

随時処理

区分	業務内容	出力帳票類
統計資料	・必要に応じて、システムから統計資料を出力する。	月別・業者別の加工賃一覧表 商品別・量目別の年間食数集計表

一般物資の業務一覧（物資課関係）

※頻度は 高＝毎日～週に1回程度 中＝月に1～3回程度 低＝学期に1回程度～1年に1回程度

頻度	ジャンル	業務内容		出力帳票類
高	日次	受注	・FAX で届いた注文書を手入力 ・WEB システム ((株)関広が構築) で受注 ・QNET (内田洋行) で受注→WEB システムへ変換	・受注入力チェックリスト
高	日次 随時	発注	・在庫品は週に1～2回確認 ・非在庫品は毎日3回出力 ・非在庫品は、週に1回、翌週～翌々週にかけての発注書を出力(週分)	・在庫切れ警告表 (在庫商品) ・発注書 (在庫商品) ・発注一覧表 (非在庫商品) ・業者別訂正一覧表 (非在庫商品)
高	日次	荷受 配送	・出力帳票類を配送委託業者へ渡す。 ・荷合せ表については、事務所保管	・得意先別商品別出庫一覧表 ・荷受表 (非在庫) ・荷受表 (在庫) ・荷合せ表 ・納品書
高	日次	仕入	・非在庫品は、業者からの納品書と荷受表をつきあわせて入力 ・在庫品の場合はすでに済んでいる仕入に対して納品書の単価数量が揃っているか確認	・荷受表 (非在庫) ※再発行
中	マスタ	商品マスタ 保守	・商品が増えたり、単価が変わったりした場合に随時修正。変更した場合は帳簿に記入	・商品マスタ保守 (ハードコピー)
中	見積	見積入力	・大規模センター等へ特価で出す商品や市町村等で見積を出している場合に担当者が適宜入力	(特に使用なし)
中	商品管理	廃棄処理	・在庫調整入力で賞味期限の切れた商品や破損等があった商品についてシステム上の処理をし、帳簿に記入	(特に使用なし)
中	更新	日次更新	・受発注・仕入等のデータを締める	
中	更新	月次更新	・月の締め作業	
中	台帳	商品台帳	・商品ごとの入出庫状況の確認 ・過去に遡って実績を確認し、冷凍野菜等の一括物資発注の参考とする。	・商品台帳
中	価格表	価格表	・価格表入力にて入力 (野菜・果物・卵) し、価格表を出力する。 ・価格表はコピーして対象の学校に配送	・価格表

低	棚卸	棚卸	・ 倉庫分も含めて、棚卸 ・ 実査とデータ上の差異を入力 ・ 賞味期限切れ等廃棄を処理	・ 差異入力チェックリスト ・ 差異表 ・ 資材台帳 ・ 在庫調整入力チェックリスト
---	----	----	---	---

一般物資の日常業務一覧（総務課関係）

頻度	ジャンル	業務内容		出力帳票類	備考
高	日次	入金入力	・銀行から届く取引明細をもとに、日毎に入金入力をする。	・入金入力チェックリスト	
中	銀行振込メニュー	入金情報	・全ての入金入力を一般物資で処理しているため、基本物資の入金データを基本物資へ移す。	・請求明細一覧表 ・請求明細合計表	
中	銀行振込メニュー	売上&残高	・全ての帳票類を一般物資で出力しているため、基本物資の売上金額、残高データを一般物資へ移す。		
中	月次	請求書	・学校、センター請求書を出力	・一般物資 請求書 （基本物資代金請求書も、同時に出力されるようにすること。）	請求書に代表者名印字（変更可）
中	月次	払込通知書	・郵便局から支払をする場合の専用振込用紙に印刷	・払込通知書（郵便局専用）	
中	月次	納入通知書	・銀行から支払をする場合の振込用紙に印刷。	・納入通知書	
中	月次	出庫特先別集計表	・支払先が公会計の市町村等について、請求書の明細書として出力している。	・出庫特先別集計表（月計）	
中	日次	支払入力	・一般物資の仕入先業者の支払金額を入力し、入力データをFDに作成して、銀行に引渡している。（新システムは、メール送信に切り替える。）	・支払入力チェックリスト ・買掛金残高表	
中	銀行振込メニュー	FD作成	・上記、支払入力データをFDに移す作業をする。（新システムではFD使用しない。）	・総合振込一覧表	
中	月次	出力	・出力する。	・売上一覧表 ・買入金一覧表	
中	入力 売上請求 月次	パンデータ更新 資材データ更新 売上データ更新 消費税計算（売掛月次） （買掛加工	・毎月、パン・米飯委託加工工場から届いたデータをシステムに読み込み、日次更新作業をする。	・工場別 品種別 実績表 ・品種別 実績表 ・資材 受払 元帳 ・パン米飯加工賃管理表 ・出庫 商品別 集計表	

		月次)			
中	月次	基本物資 代金精算書	・学校、センター請求書を出力 (※公会計の学校等については、別に請 求書を発行。(Excel))	・政府物資 代金精算書 (一般物資の請求書と同時 に出力されるようにすること。)	
中	月次	基本物資代 金請求書(セ ンター)	・各学校分をまとめた請求書を発行す る。(センター要望)	・学校給食用基本物資代金 請求書	
中	月次	銀行振込 依頼票	・銀行から支払をする場合の振込用紙に 印刷をする。	・納入通知書	
中	月次	郵便払込票	・郵便局から支払をする場合の専用振込 用紙に印刷をする。	・払込通知書(郵便局専用)	
中	マスタ	工場品種マ スタ 工場品種マ スタ(税)メ ンテ	・一部の市町のパンについては、委託加 工業者に支払う加工賃を変更するた め、毎月マスタに変更を加えている。	・工場別 品種別 実績表 ・品種別 実績表	パン・米 飯の価格 を、市町 町・学校 等によっ て変更で きるよう にする。
中	売 上 業 務	調整入金 入力	・インフルエンザ等による給食中止にか かる基本物資代金を市町で負担され る場合、請求金額を調整する作業。 (※ 市教委より、学期毎にインフルエン ザ等学校一覧表を受け取る。 学校一覧表を担当業者ごとに振り 分け、パン・米飯委託加工工場に送信 し、納品状況を確認する)	調整入金リスト	学期毎の 処理を毎 月処理で きるよう にする。
		調整入金反 映処理	(特になし)	(特になし)	
低	月次	月次繰越& クリア	・月次繰越更新をする。	(特になし)	
低	月次	学期繰越& クリア	・学期繰越更新をする。	・工場別 品種別 実績表 ・品種別 実績表	一般物資 と同様の 処理とす る (学期繰 越更新不 要)
低	月次	年次繰越& クリア	・年次繰越更新をする。	・工場別 品種別 実績表 ・品種別 実績表	

システム改善事項 検討資料(基本物資)				
現行システム			改善事項(継続すべき事項を含む。)	
処理区分	業務	入力項目・印刷項目等	必須事項	
システム全体			・年は西暦で管理する ・軽減税率の導入を考慮し、消費税8%と10%の両方を管理できるようにする。 ・出力帳票類のレイアウトを見直し、誰が見てもわかりやすいものにする。 ・出力帳票類については、用紙サイズをA4に統一する。 ・基本物資の売渡価格について、市町又は学校によって、変更できるようにする。	
01 マスタメンテ	1-1 学校マスタ	入力項目	学校コード 学校区分 学校名 正式名 地区コード 工場コード 銀行コード 住所 自主流通米区分 米品種(委託)、自校 分納回数 ACCESS更新用項目 工場CD(パン) " (米穀) 北部区分	・自主流通米区分・Access更新用項目・北部区分は不要
	1-2 商品マスタ	入力項目	商品コード 業者コード 商品区分 資材コード 商品名 非保区分 一般政府区分 売上単価 仕入単価 加工単価	・業者コード・商品区分・資材コード・非保区分・一般政府区分・加工単価は不要
	1-3 工場マスタ	入力項目	工場コード 組合コード 工場名 パン工場区分	
	1-4 品種マスタ	入力項目	品種コード 規格 売上単価 加工単価 品種名	
	1-5 工場品種マスタ	入力項目	工場コード 品種コード	
	1-6 地区マスターメンテ	入力項目	処理区分 地区コード	
	1-7 銀行マスタメンテ	入力条件	銀行コード 口座番号	
	1-8 業者マスタメンテ	入力条件	業者コード 業者名	
	1-9 業者マスタメンテ	入力条件	業者名	
	1-10 名称マスターメンテ	出力条件	名称コード	
		印刷項目	名称 単価 需要量	
	1-15 資材マスタ	出力条件	資材コード	
		印刷項目	名称 単位重量 kg単価	
	1-16 資材マスタブルーリスト	出力条件	資材コード	
		印刷項目	資材コード 名称 重量 kg単価	
	1-21 伝票組合せマスターメンテナンス	入力条件	変更区分入力 資材コード 回数	

システム改善事項 検討資料(基本物資)

現行システム				改善事項(継続すべき事項を含む。)
処理区分	業務	入力項目・印刷項目等		必須事項
	1-23 米品種マスタメンテナン	出力条件	米品種名称	
	1-24 米品種マスタブルーリスト	印刷項目	CD 名称	
	1-28 工場品種マスタ(税)メンテナン	印刷項目	(当月) パン加工賃 米飯加工賃 加工賃計 パン消費税 米飯消費税 消費税計 (当学期) 当月と同じ (当年) パン加工賃 米飯加工賃	
	1-29 分納回数マスタメンテナン	入力項目	学校コード 名称コード	
		印刷項目	学校名 名称名 分納回数	
	1-32 センター請求	入力項目	変更区分入力 学校コード 回数	
		印刷項目	センター名 名称名 送料区分	
02 入力業務	2-1 申請データ入力	出力条件	処理区分 学校名 区分 工場名	
		印刷項目	予定人数 月ごとの申請量	
	2-3 名称マスターメンテ	出力条件	処理区分(登録、 修正、削除、リス ト) 名称コード	
		印刷項目	名称 単価 月ごとの使用量 (小学校、中学校) 合計	
	2-4 申請データ更新	更新条件	更新日付(年、月)	
	2-8 学校割当変換	入力項目	分納区分 (0:分納しない、 1:分納する)	・分納マスタについては、学校マスターの項目として整理する。
	2-9 北部自校炊飯 売上リスト	出力条件	テストプリント(1: する、2:しない)	
	2-10 申請データリス ト	出力条件	名称コード 学校コード	
		印刷項目	作成日・年度・頁 コード 区 学校名 給食予定人数 月 合計 適用	
	2-16 パンデータ削除	入力条件	対象工場 削除年月(〇年〇 月〇日分)	

システム改善事項 検討資料(基本物資)				
現行システム			改善事項(継続すべき事項を含む。)	
処理区分	業務	入力項目・印刷項目等		必須事項
	2-19・20 申請データリスト	出力条件	名称コード 学校コード	・2-10に統合する。
		印刷項目	作成日・年度・頁 コード 区 学校名 給食予定人数 月 合計 適用	
	2-21 資材データ入力	入力項目	処理区分 日付 業者コード コード	・今は、Excelで取り込んでいるが、システムに直接入力できるようにすること。
		印刷項目	伝票番号 月分 回目 業者名 品名 規格 袋数 数量	
	2-24 工場受取パン データ更新	更新条件	対象年月 処理方法 (0:全工場、1:個別処理) 対象工場 前回更新日 更新区分	
	2-25 パンデータ入力	入力項目	処理区分 売上区分 日付 工場コード 学校コード コード 数量 月 適用	
		印刷項目	年月日 頁 伝票番号 日付 工場 学校 区分 行 品名 単価 コード 数量 金額 適用	
	2-26 パンデータ更新	更新条件	○年○月○日 確認	
	2-27 資材データ更新	更新条件	○年○月 確認	
	2-30 パン業者別加工 パン実施回数表	出力条件	対象年学期 ○年○学期	・規格パン、国産小麦パン、全粒粉パンに対応できるようにすること。
		印刷項目	頁 学期 工場名 コード 学校名 人員 月 パン略称 回数 適用	

システム改善事項 検討資料(基本物資)

現行システム				改善事項(継続すべき事項を含む。)
処理区分	業務	入力項目・印刷項目等		必須事項
	2-31 工場別 品種別 実績表	出力条件	月間 学期間 年間	
		印刷項目	作成日 頁 ○年度○月分 コード 工場名 品種名 規格 計 数量 売上金額 加工賃	
	2-32 品種別実績表	出力条件	月間 学期間 年間	
		印刷項目	作成日 頁 ○年度○月分 コード 品種名 規格 売上単価 加工単価 数量 売上金額 加工賃	
	2-33 資材受払元帳	出力条件	テストプリント(1: する、2:しない) ○月分	-0.01g単位まで出力(0.01g単位で伝票入力した分が反映できるように)
		印刷項目	作成日 ページ ○月分 工場名 適用 資材名 繰越 割当 使用 残	
	2-34 パン・米飯加工賃 管理表	出力条件	○年 ○月度 開始工場コード 終了	
		印刷項目	作成日 ページ ○年○月度 コード 委託加工工場 当月分 当期累計分 加工賃 消費税 合計	
	2-37 委託・出荷デー	出力条件	処理年度○年○月	
	2-38 入荷データ入力	入力条件	処理区分 資材コード 日付 数量	・米粉、ピュアナチュラル、京都市の精麦・胚芽米・玄米追加する。 ・商品ごとに(精米でも単価の違うものはそれぞれに)入力ができるようにする。 ・廃棄と差異入力ができるようにする。
	2-39 入出荷データ修 正	出力条件	変更区分入力 (0:追加1:変更 2:削除)	・全て不要
		メンテナンス項目	資材コード 年号 年月日 伝票区分 連番 名称 重量 単位 数量 適用	
	2-40 資材台帳出力	出力条件	資材コード ○年○月～○年 ○月	